

居住地に関する意識調査について

昨年10月開催の常任理事会で、「若者の居住地に関する意識の変化」について調査する旨ご報告いたしました。その結果は、以下の通りです。

[調査の概要(回答者数：703名、アンケート実施時期：17年11月)]

社会人(就職が決まっている学生を含む)

559名(男：264名、女：295名)

年代	20代	30代	40代	50代
回答者割合	29%	35%	20%	16%

(注)20代には20才未満、
50代には60才以上を含む

学 生(就職が決まっている学生を除く)

144名(男：45名、女：99名)

学 校	大学院	大学	高専・短大	専門学校	高校	中学校
回答者割合	4%	40%	4%	6%	26%	20%

全回答者(703名)の地域別内訳

地 域	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
回答者割合	4%	8%	31%	11%	3%	19%	9%	6%	8%	1%

調査結果の概要

- ・社会人が、就職の際、住む場所を決めるに当たって、「職業・会社」と「地域」のどちらを優先するかについては、50代以上は、「職業・会社を優先」で決めた人が5割を超えているのに対し、若い世代は5割以上が「住む地域を優先」し、就職を決めている。
また、若い世代では「友人・知人などの人間関係」が上の世代に比べて高い。
- ・学生が、卒業後の住む場所を決める際、「職業・会社を優先」「住む地域を優先」が半々となっている。
- ・社会人で、退職後に移住したいと考えている人は、かなり存在する。移住先の候補地には、関東(17%)、近畿(19%)、沖縄(18%)が多いが、四国を移住先に考えている人も13%と多い。

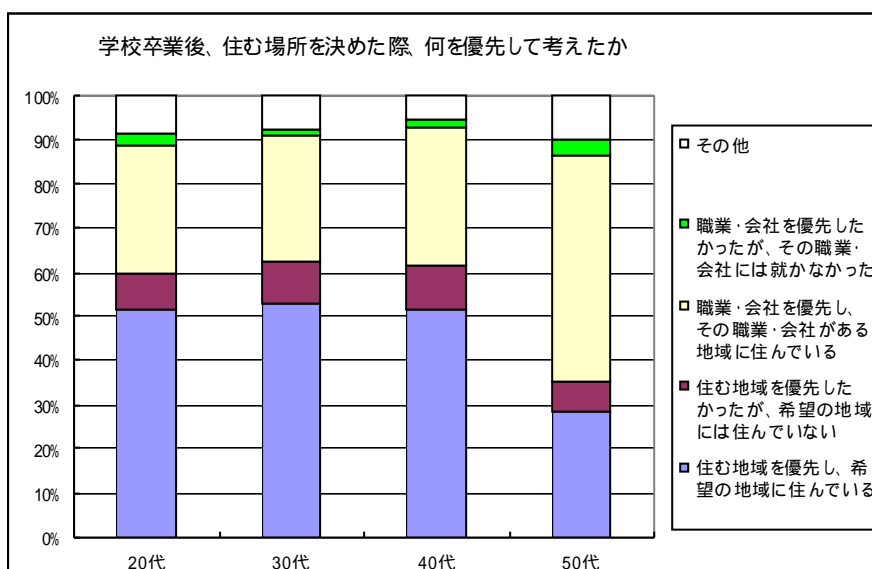
四経連としては、今回のアンケート結果も参考にしながら、四国の魅力を高めていきたい。

個別分析

社会人(就職が決まっている学生を含む)

(1) 就職するときに、何によって住む場所を決めたか

- ・50代以上は「職業・会社優先」、若い世代は「住む地域優先」の人が多い。
- ・なお、「住む地域を優先したかったが、希望の地域には住んでいない」という人が、各年代とも1割程度存在する。



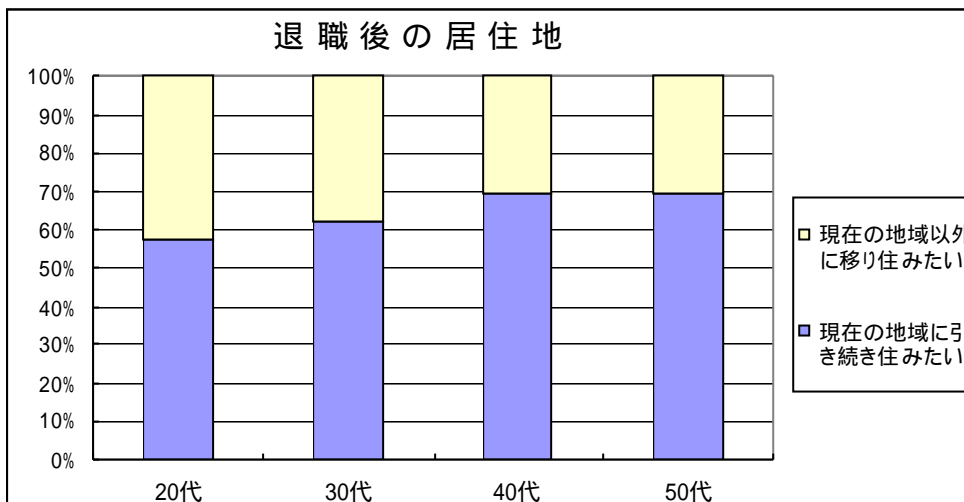
(2) その際に重視する要素(複数回答)

- ・「職業・企業を優先する」が各年代とも多く、高度成長期に就職した50代以上の世代には、特にその傾向が強い。若い世代は「友人・知人などの人間関係」も重視している。
- ・「便利で都会的な生活環境があること」は、世代間の差はほとんどなく、1割弱と少ない。

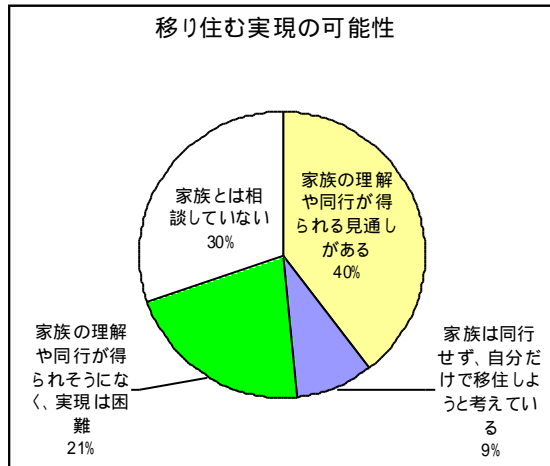
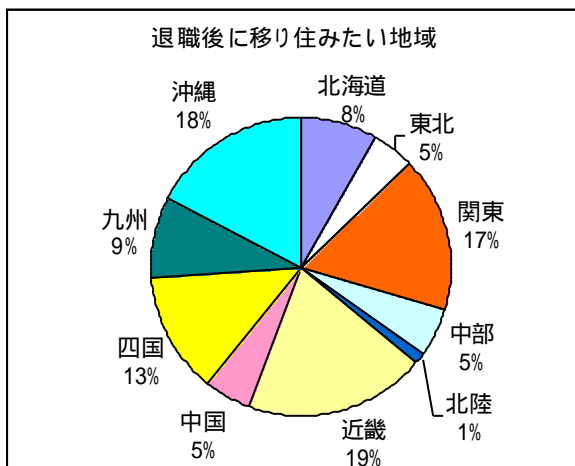
	20代	30代	40代	50代
職業・企業を優先する	44%	45%	46%	58%
雇用や賃金に満足する企業	21	28	22	30
能力や個性の発揮できる職業	27	23	28	35
出身地域への愛着	32	33	32	30
家族の意向	32	29	40	25
友人・知人などの人間関係	21	12	9	9
便利で都会的な生活環境があること	13	11	14	13
恵まれた自然環境があること	8	8	4	6
学校に企業を推薦されたこと	4	6	5	3
その他	4	3	1	-

(3) 退職後の居住地

- ・各世代を通して、退職後に移り住みたいと考えている人が3～4割存在するが、若い人ほどその比率が高い。

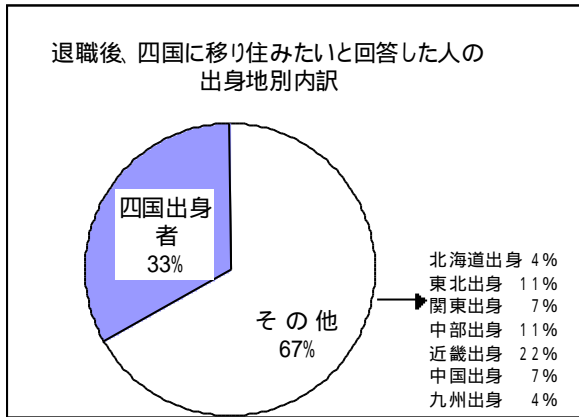


- ・退職後の移住先としては、沖縄や北海道といったリゾート地をイメージしている人も、かなり存在する。
四国は、移住先として比較的人気が高い。
- ・また、移り住む可能性については、「家族の理解や同行が得られる見通し」とする回答が約4割で、「自分だけで移住する」とあわせると、約半数に上る。

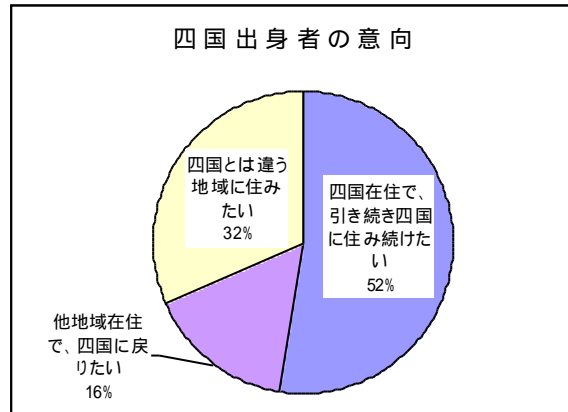


(4) 四国への移住希望

- ・ 四国に移り住みたいと考えている人はリターン希望だけでなく、四国出身以外にも、かなり存在する。



(対象：退職後、四国に移り住みたい方 27名)

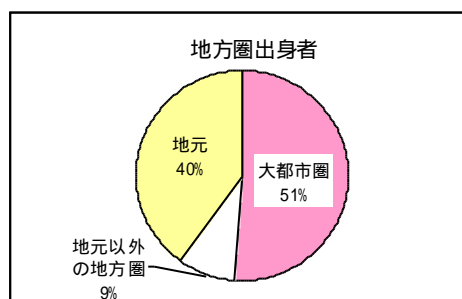
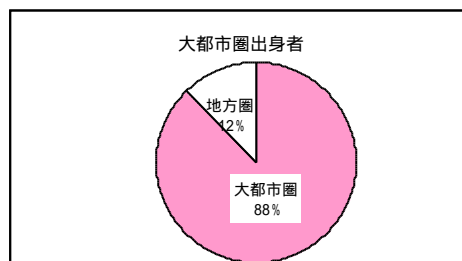
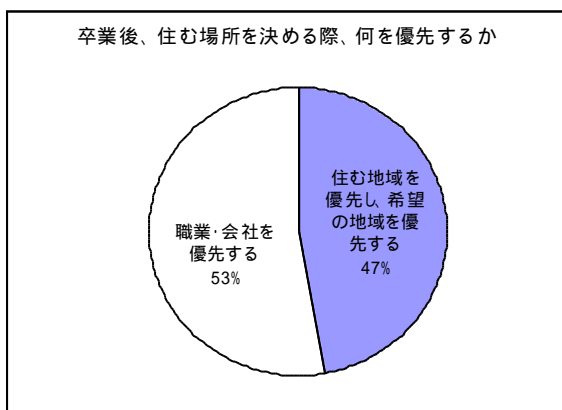


(対象：四国出身の 57名)

学 生(就職が決まっている学生を除く)

(1) 就職に際し、住む場所を決める際の優先事項

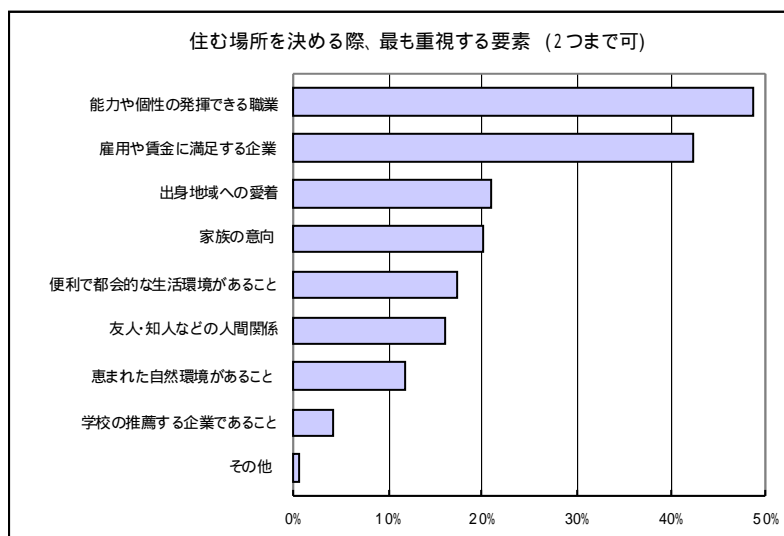
- ・「職業・会社優先」と「地域優先」がほぼ半々となっている。
- ・住む地域を優先する学生のうち、大都市圏に住みたい学生は、大都市圏出身者は9割、地方圏出身者は約半数である。



大都市圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、愛知県、三重県、岐阜県、大阪府、兵庫県、京都府、奈良県の1都2府8県

(2) 住む場所を決める際、最も重視する要素 (複数回答)

- ・職業関係では、「能力や個性の発揮できる職業」(49%)が、「雇用や賃金に満足する企業」(42%)をやや上回る。
- ・職業関係以外では、「出身地域への愛着」(21%)、「家族の意向」(20%)、「友人・知人などの人間関係」(16%)などとなっている。



以 上